

英語科学習指導案

I 単元名 Unit5 : Living with Robots—For or Against(NEW HORIZON English Course3)

II 学習指導要領上の位置付け

[知識及び技能]

エ 文、文構造及び文法事項

(イ) 文、文構造及び文法事項

b[主語＋動詞＋目的語]のうち、

(b) 主語＋動詞＋whatなどで始まる節

(ウ) 文法事項

i 現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法

[思考力・判断力・表現力等]

ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。

[言語活動に関する事項]

エ 話すこと [やり取り]

(ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読みとったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。

カ 書くこと

(エ) 社会的な話題に関して書いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。

III 目 標

ア (知識・技能)

- ・分詞の後置修飾や間接疑問文の形・意味・用法に関する知識を理解する。
- ・ロボットとの暮らしに関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

イ (思考力・判断力・表現力等)

- ・ロボットとの暮らしについて、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに自分の考え、気持ちなどを伝え合うことができる。

ウ (学びに向かう力・人間性等)

- ・ロボットとの暮らしについて関心を持ち、自分の知っている表現を利用して積極的に議論に参加しようとしている。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（本時2時間／全10時間）

1 ねらい ロボットとの暮らしについて、友達と会話する活動を通じて考えを深め、ロボットと暮らすことに賛成か反対か主張できるようになる。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 前時までの学習内容を復習する。（15分） ①Word Counter(Today's Topic: What robot do you want?) ○タブレット端末でロボットの例を見せることで、何について話し合うのか具体的に想起させる。 ○教諭・ALT のデモンストレーションを行う。 ②復習 ○ピクチャーカードを見せて、前時の内容を想起させる。			
2 本時のめあてをつかむ。（5分） ○タブレット端末でロボットの利点や課題を投げかける。 ○教諭・ALT のデモンストレーションの中で、賛成・反対表現や理由を例示し、めあてにつなげる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> めあて ロボットと暮らすことについて、賛成か反対か意見を述べよう </div>			
3 ロボットと暮らすことについて賛成か反対か、ペアで意見を交換する。（15分） ○ワークシートで賛成・反対表現、理由を述べる表現を確認する。 ○教諭・ALT のデモンストレーションを行う。 ○個別で考える時間を1分取ってからペアで意見を交換する。その際黒板に会話例を板書しておく。 ○1分間でペアを換え、色々な意見を聞けるようにする。 ○意見交換の途中で、使える語彙や参考になる意見を全体にその都度紹介していく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 評価：賛成か反対か自分の立場を明確にし、理由まで述べることができている。 注：新学習指導要領＜観察・ワークシート（2）イ・ウ＞ </div>			
4 友達の意見を参考にして、改めて自分の立場と理由をワークシートに記入する。（10分） ○理由が書けない生徒には、ペアワーク時に板書した語彙や表現を示し、参考にさせる。 ○記入後、賛成、反対それぞれの立場の生徒を数名ずつ指名して意見を全体に発表させる。			
5 本時のまとめ・振り返りをする。（5分） ○振り返りシートに、本時でできるようになったこと（言語面）やわかったこと（内容面）を書かせる。 ☆ロボットと暮らすことについて、理由を述べながら賛成することができた。（言語面） ☆意見交換の中で、ロボットは便利だが、危険性もあるとわかった。（内容面）			

VI 板書計画

5-1 Starting Out	Today's Goal	ロボットと暮らすことについて、賛成か反対か意見を述べよう
Today's Topic	"Living with Robots"	
What robot do you want?	I agree because….	useful help make us happy
	I disagree because….	dangerous scary we cannot control

指導計画 英語科 第3学年 単元名 Unit5 : Living with Robots—For or Against (全10時間計画)

目標	ロボットとの暮らしについて、友達と会話したりメモを書いたりする活動を通じて考えを深め、ロボットと暮らすことに賛成か反対か自分の立場を主張しながら討論することができる。			
評価規準	<p>ア (知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> 分詞の後置修飾や間接疑問文の形・意味・用法に関する知識を理解している。 ロボットとの暮らしに関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 <p>イ (思考力・判断力・表現力等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ロボットとの暮らしについて、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに自分の考え、気持ちなどを伝え合うことができる。 <p>ウ (学びに向かう力・人間性等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ロボットとの暮らしについて関心を持ち、自分の知っている表現を利用して積極的に議論に参加している。 			
過程	時間	○:ねらい めあて	☆振り返り (意識)	◇評価項目 (方法・観点)
つかむ	1	○欲しいロボットを、分詞を用いて詳しく描写することで、分詞の特徴と使い方を理解させる。 どんなロボットが欲しいか説明しよう。	☆ing や～ed の分詞で、名詞を詳しく説明したり情報を加えたりできるとわかった。 ☆こんなことをしてくれるロボットがあったらいいな。	◇分詞の使い方を理解し、欲しいロボットを説明できている。 (観察 (ア))
	1 (本時)	○ロボットとの暮らしについて、友達と会話する活動を通じて考えを深め、ロボットと暮らすことに賛成か反対か主張できるようになる。 ロボットと暮らすことについて賛成か反対か意見を述べよう。	☆ロボットと暮らすことについて、理由を述べながら賛成することができた。 ☆意見交換の中で、ロボットの便利さと危険性がわかった。	◇賛成か反対か自分の立場を明確にし、理由まで述べるできている。(観察・ワークシート (イ)・(ウ))
追究する	2	○付加疑問文を使って、最新のロボットやスマートフォンがどんなことができるか、知っていることを述べられるようになる。 最新のロボットやスマートフォンはどんなことができるか、知っていることを話し合おう。	☆疑問文が別の文に入ると「疑問詞+主語+動詞」の語順になることがわかった。 ☆最新のロボットの技術はすごいな。色々なことができるのだな。	◇間接疑問文の仕組みや語順を理解できる。(ワークシート (ア))
	4	○本文の会話を読み進め、議論の仕方や表現、ロボットとの生活における快適さや危険などについて理解を深める。 登場人物たちのロボットについての議論を読み取り、ロボットとの暮らしにおける利点や欠点について考えよう。	☆in part, worry about, In my opinion, out of control など討論に役立つフレーズを覚えられた。 ☆ロボットのメリット、デメリットについて学ぶことができた。	◇ロボットとの生活について、本文の議論の要点を読みとれている。(ワークシート、発言、ノート (ア))
まとめる	1	○本単元で学んできた表現や意見交換のメモ等を参考にし、ロボットと暮らすことについて改めて賛成か反対か小グループで討論を行うことで、発展的な討論ができる力を身に付け、ロボットと暮らすことの利点や課題について考える。 今まで学んだことを生かして、ロボットと暮らすことについて賛成か反対か討論しよう。	☆今までの知識を駆使して自分の意見を言ったり、他の人の意見に賛成したりできた。 ☆これからはロボットなしでは生活できないだろう。 ☆ロボットが発達しすぎると、一緒に暮らすのは怖いな。	◇ロボットと暮らすことについての討論で自分の意見を述べるができる。(観察、発言 (イ・ウ))
	1	○単元を通して身につけた賛成・反対表現や討論技術を、他の議題についても応用し、討論できる力を身につける。 様々な議題について、賛成か反対か討論しよう。	☆ロボット以外の議題についても、今まで学んだ表現を使って討論できた。 ☆優先席の問題など、社会には賛成か反対か考えるのが難しい議題がたくさんあるな。	◇様々な議題について、理由を述べながら賛成したり反対したりすることができている。(観察、発言 (イ・ウ))